

## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

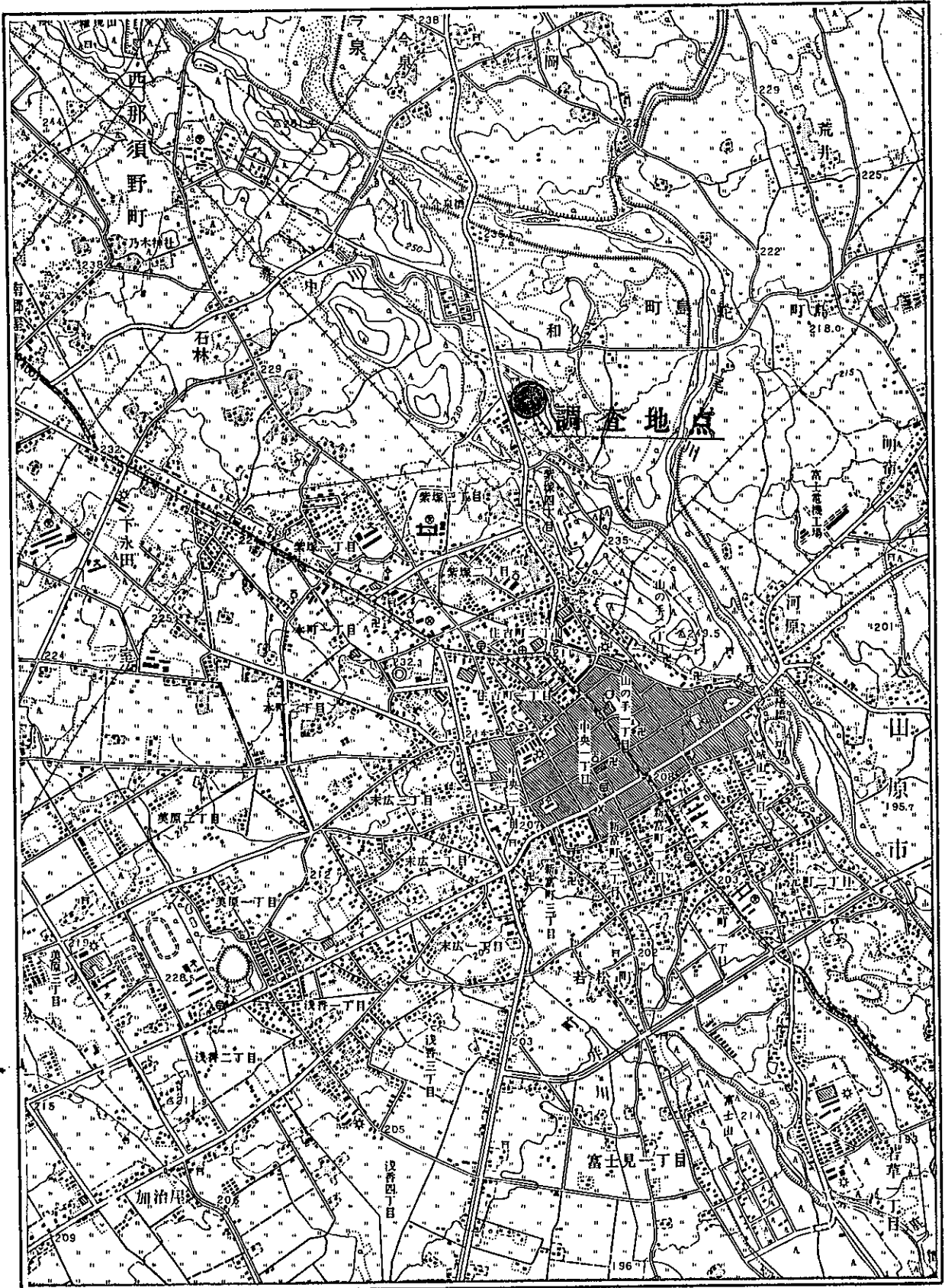
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

調査地案内図

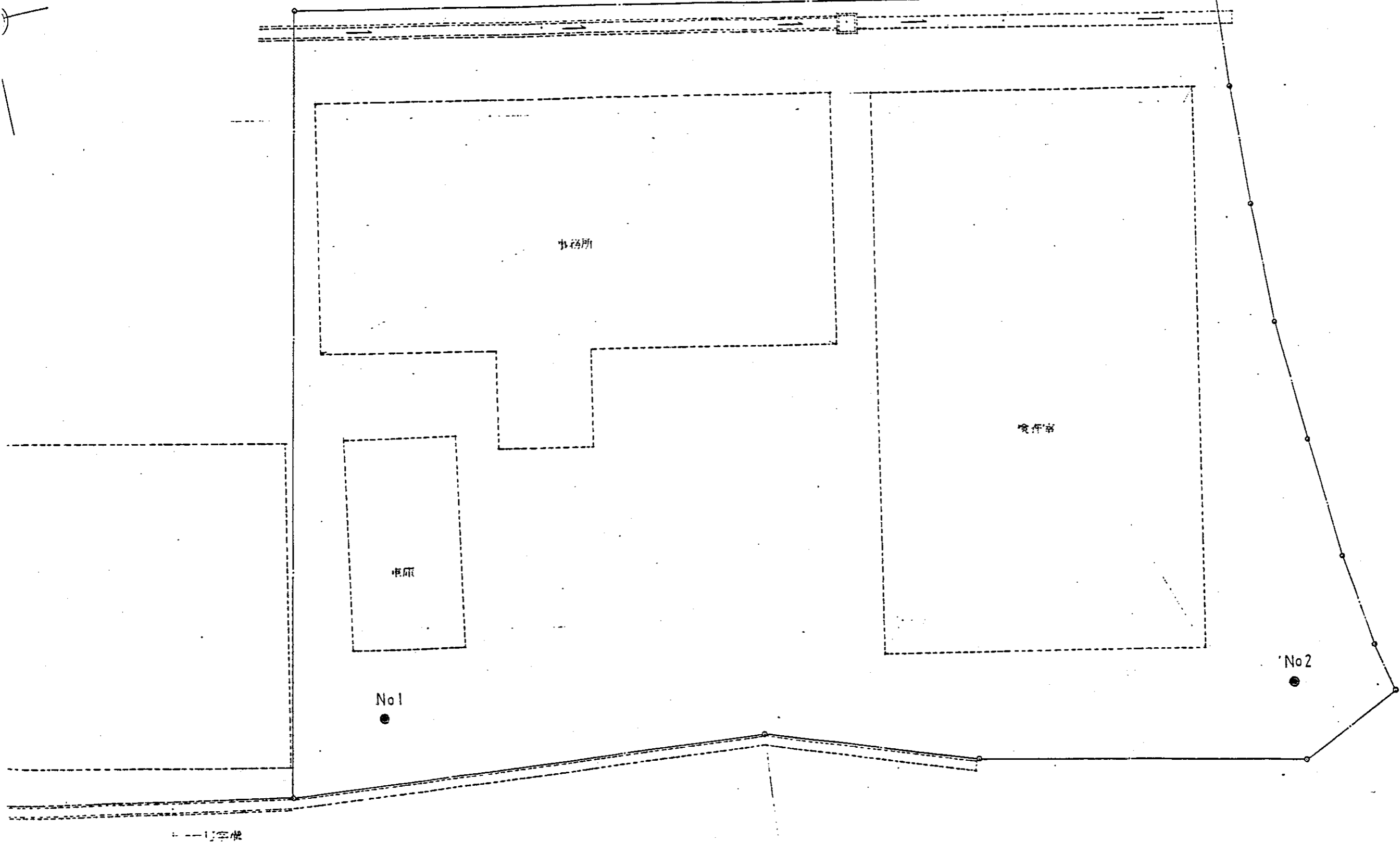
縮尺 1 : 25,000



平面位置圖 縮尺 S=1:100

附本圖 450×450

（詳圖）



# ボーリング柱状図

ボーリングNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

調査名 設置委託 食肉衛生検査所新築工事

## 事業・工事名

ボーリング名	No. 1		調査位置	大田原市町島66-2	
発注機関	栃木県		調査期間	平成 7年12月14日 ~ 7年12月16日	
調査業者名	主任技師		現場代理人	ア コ鑑定者	
孔口標高	-0.00m	方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	ハンマー	コーンブリー
総掘進長	15.45m	角度	180°上 90° 0° 90° 180°下	落下用具	ボンブ
シートのNo.	V-6A				

掘進月日	原位置試験		標準貫入試験	深度 (m)	試験採取方法	試験採取番号	試験結果
	深度 (m)	試験結果					
12/14 12/15 12/16	1.15	1	N値	1.15	⊙	1	
	1.45	2		1.45	⊙	2	
	2.15	3		2.15	⊙	3	
	2.45	4		2.45	⊙	4	
	3.15	5		3.15	⊙	5	
	3.45	6		3.45	⊙	6	
	4.15	7		4.15	⊙	7	
	4.45	8		4.45	⊙	8	
	5.15	9		5.15	⊙	9	
	5.45	10		5.45	⊙	10	
	6.15	11		6.15	⊙	11	
	6.45	12		6.45	⊙	12	
	7.15	13		7.15	⊙	13	
	7.45	14		7.45	⊙	14	
	8.15	15		8.15	⊙	15	
8.45		8.45					
9.15		9.15					
9.45		9.45					
10.15		10.15					
10.45		10.45					
11.15		11.15					
11.45		11.45					
12.15		12.15					
12.45		12.45					
13.15		13.15					
13.45		13.45					
14.15		14.15					
14.45		14.45					
15.15		15.15					
15.45		15.45					

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對稠密度	相對角度	相対密度	相対稠密度	記
-0.00	0.00	0.00		粘土	暗灰	中位	90°			上部層に砂質・シルト質の混入を認め、最大粒径100mm程度の礫を混入する。比較的均質な細砂。背景部分的中位～細砂等混じる。
-1.27	0.65	1.25		細砂	暗茶褐	中位	90°			粒径Max100mm程度の礫を希に介在し、径5～30mm程度の面円礫を主にマトリックス（基質部）は粗砂にてうずめられる。固結度は低くルーズな層相を呈す。深度3.6m付近砂分濃度となる。
-4.32	3.05	4.30		砂	暗灰	中位	90°			比較的、粒径不均質な中砂。部分的に粒径2～5mm程度礫を混じる。深度13.0m付近より暗茶褐色に劣化する。部分的に浮石を混じる。やや不均質な層相を呈す。

# ボーリング柱状図

調査名 設計委託 食肉衛生検査所那須支所新築工事

事業・工事名

ボーリングNo.														
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo.

ボーリング名	No. 2			調査位置	大田原市町島66-2			北緯
発注機関	栃木県			調査期間	平成7年12月15日～7年12月19日			東経
調査者名	現場代理人							ボーリング責任者
孔口標高	-0.01m	主任技師	ア コ 鑑定者					ハンマー
総掘進長	17.25m	方向	北 90° 東 270° 西 180° 南	地盤支配	KR-100			落下用器具
		角 度	180° 上 90° 下	使用機種	エンジン			ポンプ
		深		試験機	NS-8			V-6A

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對稠密度	相對稠度	記事	標準貫入試験		N 値	原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試験採取 方法	室内試験 ( )	掘進月日
									10cmごとの 打撃回数	打撃回数 貫入量 (cm)						
1				盛土	暗黒褐～暗灰		硬い～固結した	上部砂質・シルト等の混合土 以深部分的に礫径100mm程度の 大礫を混じる	1.15	10		1.15	1		12/15	
2	2.80	-2.81						不均質な層相を呈す	1.45	30	52	1.45	2		12/15	
3									2.15	29	34	2.15	3		12/15	
4									2.44	12	34	2.44	4		12/15	
5									3.15	11	19	3.15	5		12/15	
6									3.45	8	30	3.45	6		12/15	
7									4.15	6	30	4.15	7		12/15	
8									4.45	7	27	4.45	8		12/15	
9									5.15	10	30	5.15	9		12/15	
10									5.45	8	27	5.45	10		12/15	
11									6.15	9	30	6.15	11		12/15	
12									6.45	10	31	6.45	12		12/18	
13									7.15	11	30	7.15	13		12/18	
14									7.45	13	42	7.45	14		12/18	
15									8.15	18	42	8.15	15		12/18	
16									8.45	13	39	8.45	16		12/18	
17									9.15	15	30	9.15	17		12/18	
18									9.45	12	54	9.45	18		12/18	
19									10.15	23	28	10.15	19		12/18	
20									10.43	18	24	10.43	20		12/18	
21									11.15	16	50	11.15	21		12/18	
22									11.39	18	50	11.39	22		12/18	
23									12.15	16	30	12.15	23		12/18	
24									12.45	17	50	12.45	24		12/18	
25									13.15	18	50	13.15	25		12/18	
26									13.45	12	24	13.45	26		12/18	
27									14.15	14	50	14.15	27		12/18	
28									14.39	17	50	14.39	28		12/18	
29									15.15	20	23	15.15	29		12/18	
30									15.39	30	20	15.39	30		12/18	
31									16.15	20	18	16.15	31		12/18	
32									16.35	24	18	16.35	32		12/18	
33									17.15	26	8	17.15	33		12/18	
34									17.33	24	18	17.33	34		12/18	

12/15  
2.45  
=

16.51  
13.97  
16.57  
17.25  
17.25

砂 礫

暗茶  
褐

中位～密な  
暗黒褐～暗灰

孔内水位 (m) 測定月日

深 度 (m)

10cmごとの打撃回数

打撃回数 貫入量 (cm)

N 値

標準貫入試験

原位置試験 深度 (m)

試験採取 試験料番号

採取方法

室内試験 ( )

掘進月日